

書字速度はキャッチアップするのか？

河野 俊寛
金沢星稜大学

読み書き障害の困難さ

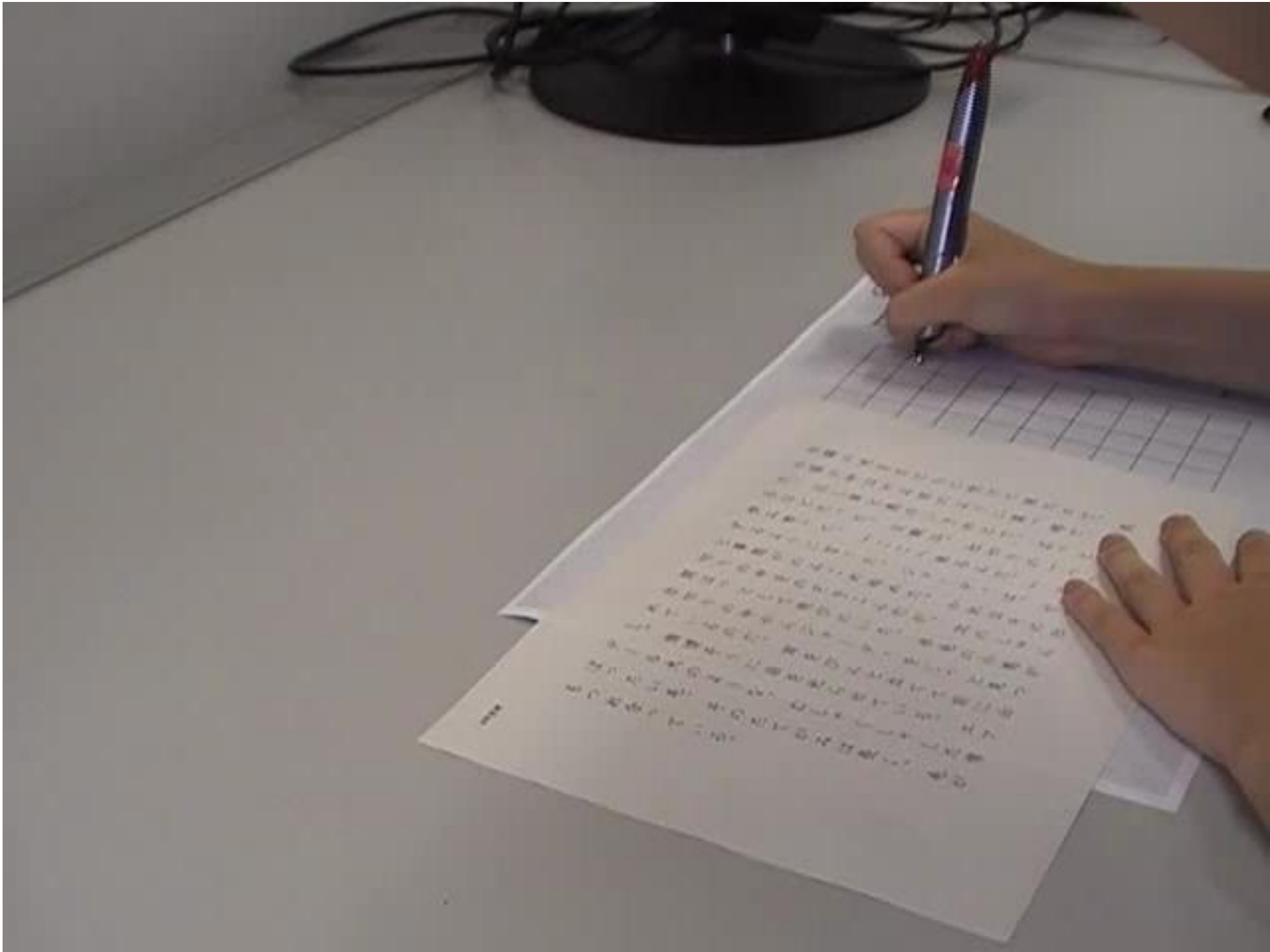
- 正確さ
- 流暢さ

読み書きの具体的な困難さ

- 小学校 1 ・ 2 年生：正確さの困難
- 小学校 3 年生以降：流暢さの困難
漢字の正確さの困難
- 中学生：英語学習の困難
- 成人：流暢さの困難

流暢さの重要性

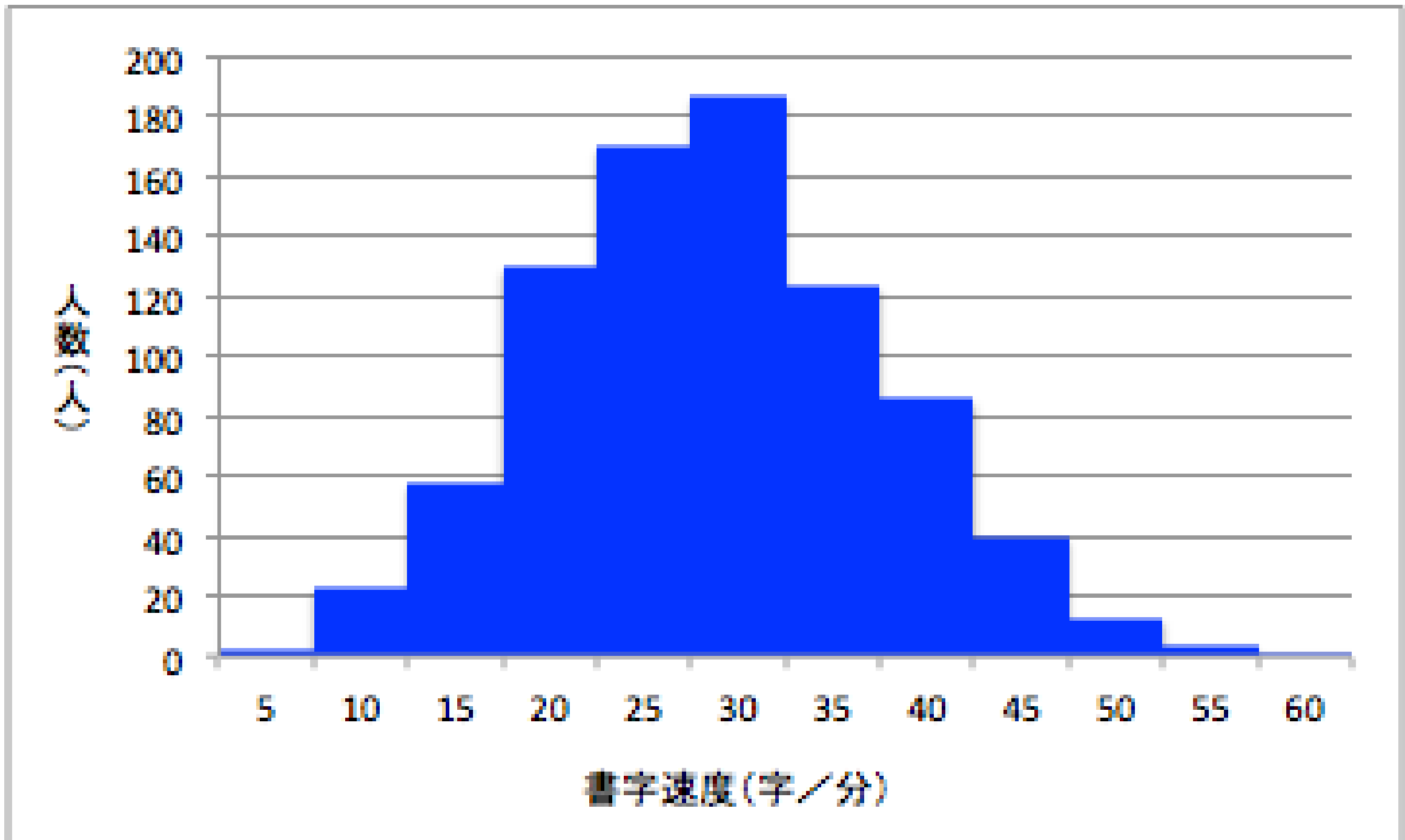
- 正確に音読できなくとも内容理解はできる
- 流暢に書けないと、試験時間内に解答を書き切れない
- 流暢に書けないと、板書を書き切れない

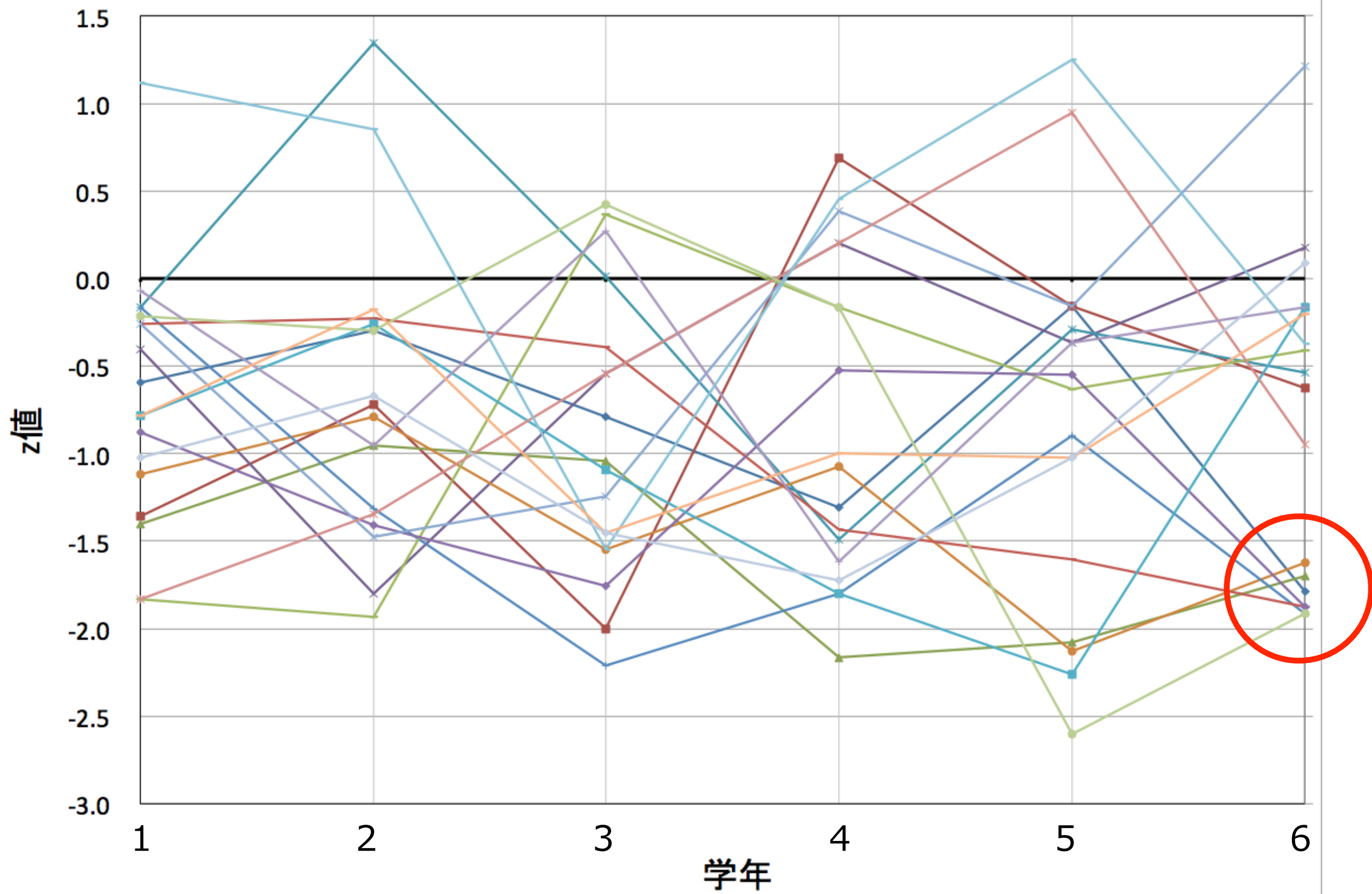


									草	真	の	け	太
									と	っ	中	て	陽
									馬	暗	は	来	の
									の	で	や	た	光
									い	、	み	の	を
									き	ま	夜	で	ま
									れ	た	の	、	と
									と	、	よ	馬	も
										ほ	う	小	に
										し	に	屋	受

					、	の	っ	で	ほ	う	の	け	太
					こ	一	た	、	し	に	中	て	陽
					こ	っ	お	草	真	は	来	の	
					へ	へ	父	、	と	っ	や	た	光
					来	歩	親	と	馬	暗	み	の	を
					る	み	は	す	の	で	の	で	ま
					ん	寄	、	る	い	、	夜	、	と
					た	、	仕	ほ	き	ま	の	馬	も
					。	て	て	と	れ	た	、	小	に
					し	、	り	だ	と	、	よ	屋	受

小学6年生書字速度





河野俊寛・平林ルミ・中邑賢龍（2015）書字速度
が遅い小学生は6年生になっても遅いのか？ 日本
発達心理学会第26回大会.

- 正確さ → 改善
- 流暢さ → 残る

	A	B	C	D	E	F	G	H
性別	女	男	女	男	男	男	男	女
年齢	33	34	34	41	42	49	54	60
学歴	大卒	大卒	大卒	専門学校卒	高卒	中卒	大卒	大卒
職業	会社員	自営	自営	会社員	自営	自営	団体職員	団体職員
書字速度 (字/分)	37.3 (-0.36)	46.7 (-0.36)	39.7 (-1.04)	38.7 (-1.14)	34.7 (-1.52)	12.0 (-3.71)	8.0 (-4.10)	31.3 (-1.85)
読み速度 (字/分)	415.4 (-0.91)	400.0 (-0.91)	86.7 (-3.11)	406.7 (-0.87)	313.0 (-1.52)	304.2 (-1.58)	409.1 (-0.85)	565.4 (0.25)

参考：小学6年生 書字速度 31.3字／分 読み速度 445.5 (URAWSS)

高校1年生 書字速度 41.5字／分 (河野・岡部・嶋他 (2013) LD研究, 22, 476-483.)

成人 書字速度 50.5字／分 (江田・平林・河野他 (2012) 特殊教育学研究, 50, 257-267.)

読み速度 528.9字／分 (河野 (2014) LD研究, 23, 466-472.)

「努力不足ではなかったんですね？」

河野俊寛（2014）学齡期に読み書き困難のエピソードがある成人8例の読み書きの流暢性及び認知特性―後方視的研究―. LD研究, 23(4), 466-472.

- 小枝達也（2002）心身の不適応行動の背景にある発達障害．
発達障害研究，23，258-266.

鳥取県のLDと診断され児童生徒の不登校の割合

小学生 34.5%

中学生 59.5%

- 石井恵子・上野一彦（2008）発達障害のある児童生徒の不登校傾向について．LD研究，17，90-96.

東京都の情緒障害通級指導教室通級児童生徒の不登校の割合

小学生 11.1%

中学生 50.0%

代筆

「特別支援教育支援員」を 活用するために

平成19年6月

特別支援教育支援員

発達障害の児童生徒に対する学習支援

- ・ 読み取りに困難を示す児童生徒に対して
黒板の読み上げを行う。
- ・ 書くことに困難を示す児童生徒に対して
テストの代筆などを行う。

（「『特別支援教育支援員』を活用するために」文部科学省 平成19年）

「本人は／色々意欲的な様子ですが、100マス計算は、半分のところで私が読み上げ代筆で、なんとかクリアー！／なのですが、文章読解のドリル（1年生なのですが）を読み上げ口頭試問(寝転びながら)すると／心がやる気になるそうで、20ページ一気にできます。そして、今日2年と3年用も購入してしまいました。」（／は改行）

資料2 高等学校の入学試験における発達障害のある生徒への配慮の事例

別室受検（自閉症、高機能自閉症、LD、アスペルガー症候群、ADHD等）

試験時間の延長（LD）

集団面接を個人面接で実施（自閉症）

問題用紙の拡大（LD、広汎性発達障害）

問題文の読み上げ（LD）

監督者による口述筆記（LD）

前日に試験会場の下見（高機能自閉症）

介助者が同席（自閉症）

保護者の別室待機（ADHD）

学力検査問題の漢字のルビ振り（LD）

集団面接の際、誰かが先に行動を見せないと自分ではできない面がある生徒に対し、同じ中学校の受験生と同じグループで受検させた（アスペルガー症候群）

面接の際、質問をわかりやすく伝え、回答を急かさない（LD）

面接の順番を早める（高機能自閉症）

デジタルで学ぼう：パソコンと口述筆記で受験 神奈川・書字障害の生徒、県立高校に合格 (2015年5月26日 毎日新聞)

文字を書くことが困難な「書字障害」と、視覚・触覚過敏など複数の障害があり、中学校にほとんど通えなかった生徒が今春、パソコンと口述筆記での受験を認められ、神奈川県立弥栄高校に合格した。文部科学省によると、公立高校の入試でパソコンの利用が認められるのは全国的にも珍しい。生徒は、入学の授業でもタブレットの利用を認められ、学校で学ぶ喜びをかみしめている。

4/4

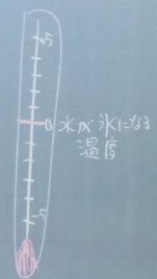
分
分

→ +3kg
→ -3kg

はいと

0とは何なのか

0は、基準を表す数である。

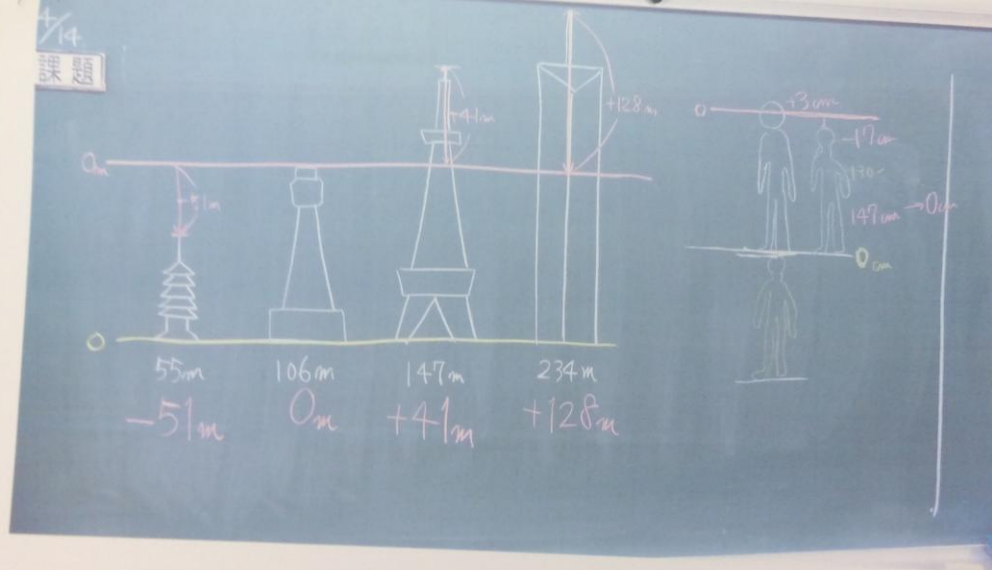


	去年	今年
女子	95人	100人
	0人	+5人
男子	102人	98人
	0人	-4人

4
月
14
日
火
曜
大泉

国語

4/4
4/14
課後



五